

# 交通安全部会の審議状況

## 第1回（仮称）地域コミュニティ部会

地域コミュニティ関係の検討課題（部会で出た審議したい意見）



（仮称）コミュニティ交流促進部会

## （仮称）安全・安心部会

安全・安心をテーマに、どんなことができそうか検討を行っていく。

例えば、交通安全

例えば、防災対策

例えば、防犯対策

## 第1回（仮称）安全・安心部会

### 審議状況

#### 交通安全に対する審議

- 自転車の事故が多くなっている。  
（被害者に対する賠償金が高額になるようなケースがある。）
- 平成20年6月に道路交通法が改正しているが、新しい自転車の通行ルールについて、明確に理解していない人が多い。  
（自転車は、こういった場合に歩道を走れるか）
- 小学生に対する交通安全教室を行っているが、大人が自転車などの交通ルールを知る機会がすくない

#### その他の審議

- 大学生が行っている防犯対策を広げる（地域の落書き消しなど）
- 避難所等の訓練を広げる（自主防災組織が取り組んで行く）

### 第1回部会での審議結果

- 部会として、自転車等の事故防止、マナー向上を審議していく。
- 部会名が、安全・安心部会だと意味が広いため、交通安全部会とする。
- 今後、交通安全関係で提言がまとまったら、部会名や審議テーマを変更して審議を行っていく。

### 次回の部会

- 自転車等のマナーやルールについて、周知していくため、まず自転車等の交通ルールやマナーについて部会で勉強していく。

# コミュニティ交流促進部会の審議状況

## 第1回（仮称）地域コミュニティ部会

地域コミュニティ関係の検討課題（部会で出た審議したい意見）

防犯カメラによる防犯対策	お祭りなどイベントを活用した活性化	こどもたちのマナー向上
災害救援ボランティアの受け入れ	行きやすい身近な拠点	技術やノウハウを持っている方を繋げる仕組み作り
避難所の使用方法の周知	繰り返しちょこちょこ会える機会づくり	シニア世代の活用とネットワークづくり
災害時での地域での助け合い	個人宅や民間スペースの活用	地域でこどもを見守る環境づくり
自転車、バイク等の事故防止	コミュニティセンターを設置するための課題整理	民生委員等を含めた人材育成の検討
地域での声かけによる防犯対策	地域の縁側づくりのサポート、関係づくりの場	健康づくりと地域コミュニティ

（仮称）安全・安心部会

## （仮称）コミュニティ交流促進部会

コミュニティの交流促進をテーマに、どんなことができそうか検討を行っていく。

例えば、拠点づくり

例えば、人材の育成

例えば、健康づくり

## 第1回（仮称）コミュニティ交流促進部会

### 審議状況

#### コミュニティに対する審議

- 地域の交流を深めるためにはどうしたら良いか。
- 住民を外（イベント等）に出すしかけづくり。
- 区民が交流できる拠点づくり（拠点づくりのためのノウハウ調査）
- 拠点の運営や、コミュニティを活性化させる人材づくり
- 既存の施設の利用条件を調査し、何が支障になっているか。
- 地域により集まりやすい地区、集まりにくい地区があるので、地区による特性を考える
- 交流のためのイベントの広報（クチコミをどう広めるか）

### 第1回部会での審議結果

- 色々な世代が交流し、コミュニティが活性化していくために必要な資源を「場」・「人材」・「しかけ」に整理して順番に検討していく。
- ※「場」：住民が集まれる場所
- 「人材」：コミュニティを活性化させる人材
- 「しかけ」：イベント、祭り、講座など、人が集まるきっかけ
- まず最初に「場」について検討を行っていく。

### 次回の部会

- コミュニティ交流のために既存の拠点（老人いこいの家、こども文化センター、学校、公園など）の利用条件・所在を確認する。

第2期区民会議では、藤子・F・不二雄ミュージアムの開館が平成23年時と同近に迫っており、緊急な高いテーマと行動したため、「藤子・F・不二雄ミュージアムへのアクセスルート整備」について検討・発言しました。

川崎市としての取組(基盤整備箇所)

川崎市では、区民会議での提言を受けて、整備に際り組んでいます。具体的な整備については、下記のとおりとなります。

～取組に向けた考え方～

- 自然を壊さず、またより自然豊かな環境のある空間の創出
- 景観に合わせた整備の仕方で、景観の向上
- ミュージアムとともにまち歩きが楽しめる空間の創出

登戸・向ヶ丘園駅周辺地区の価値と魅力の向上



- ～凡例～
- 藤子・F・不二雄ミュージアム立地場所
  - 歩行者アクセスルート
  - 景観整備ルート
  - 景観整備済ルート
  - 橋梁関係
  - 写真位置番号



- 登戸・向ヶ丘園駅周辺地区一円で行う事業
- 案内サインの整備
  - 歩道改善(舗装)
  - 交通安全設備
  - パナフレック設置

# 多摩区区民会議ニュース

発行 多摩区民会議事務局 多摩区役所企画課 Tel 044-933-3141 Fax 044-933-3391 E-mail: hokaku@city.tama.lg.jp 第1号

## 第3期区民会議がスタートしました!

### 区民会議とは

区民会議は、暮らしやすい地域社会をめざして区民のみならずが中心となって、参加と協働により、地域社会の課題の解決を図るために調査審議をする会議です。  
平成22年7月より、団体推薦15名、区民推薦2名、公募3名の計20名が新たに委員となり、第3期区民会議として新しい構成でのスタートとなりました。



(第3期区民会議)

### 〈区民会議を通じた地域課題解決の流れ〉



### 第3期区民会議委員紹介

森野 輝: 区長推薦	関 善範: カンザウ川町警察交番副交番
石塚 啓吾: 区民による公募取組協議会	池野 輝行: 区民協議会
増田 忠信: 登戸・上野原地区向野駅南東まちづくり推進協議会	伊藤 仁志: 川崎さくら文化会(アパレル)
福田 智也: 多摩区子ども総合支援推進協議会	西山 孝子: 多摩区文化協会
辻野 文雄: 多摩区生活協賛会	野村 道子: 区民協議会
大津 智: 多摩区社会福祉協議会	坂野有子子: 多摩区地域教育会議
清沢 剛: 多摩区協賛会	坂野 一志: 多摩交通安全協会
奥田 隆: 多摩区振興推進協議会	本木 正義: 区民協議会
奥田 久美子: 川崎中區防犯多摩区民防協会	丸山 博二: 多摩区・多摩区環境協議会
榎本 博樹: 区民推薦	吉田 雅夫: 多摩区町会連合会

目次

- 第3期区民会議審議がスタートしました.....1
- 第3期区民会議の取組状況.....2
- 第2期区民会議の報告とその取組状況.....3, 4

区民会議は、必要に応じて専門の事項に関する調査検討を行う専門部会を設けることができます。第3期区民会議では、専門部会として「環境・観光部会」、「コミュニティ交流促進部会」を創設し、地域課題の調査を行っています。また、3つの専門部会を連携する「企画部会」を創設し、区民会議を円滑に運営していきます。

### 【専門部会の取り組み状況と専門部会のイメージ】

#### 交通安全部会

多摩区の安全・安心なまちづくりのための防災・防災・交通安全について調査を行う際に、自転車のルールについて意外に理解していないことや、自転車事故が増えていることを受けて、交通マナーの向上や、自転車等の事故の防止について調査・審議を行っていきます。



#### コラム

##### 自転車での事故事例

夜、高校1年生の女子がライトをつけない自転車で走行中、携帯電話を併用してその路面に気を取られ、前方の歩行者に気づけずそのまま衝突し、転倒させて歩行困難となる後遺障害を負わされた。損害賠償 5000万円

～「私としてからでは思いの自転車の事故事例、資料～

#### コミュニティ交流促進部会

コミュニティ交流促進部会では、色々な世代が交流し、コミュニティが活性化していくためにどうしたらよいか審議していきます。  
また活性化に向けて必要な資源を「場」「人材」「しかり」に整理して調査に検討していきます。



#### 環境・観光部会

環境・観光部会では、多摩区が設け40周年（ロケム事業）をきっかけとすることで、区民と行政が一緒になって多摩区の魅力発信や環境問題などといった、多摩区の課題解決のための調査・審議を行っていきます。

#### コラム

##### 多摩区は、もうすぐ40歳

川崎市が政令指定都市となった、1972年（昭和47年）4月1日に、川崎区、幸区、中原区、高津区とともに多摩区が設置されました。そのため、多摩区は、西暦の2012年（平成24年）に40周年を迎えます。

#### 企画部会

- 各部会の進捗確認
- 全体会議の調整
- 報告書やフォーラムの調整など

#### 区民会議

- 各部会からの調査検討の報告を会議で審議し、その取組について意見交換を行う。
- 区民会議で出た意見については、部会に持ち帰って検討を行う。

第2期多摩区区民会議では、さまざまな取り組みがなされ、今年3月に区長へ提言されました。提言も受け入れた区では、市民活動団体、区役所内部、全市間連携委員と調整を行い、提言を考慮し地域課題の解決に取り組んでいます。

### 【提言とその取り組み状況】

第2期区民会議の提言

第2期区民会議の提言に対する取り組み

#### 公園を中心とした地域づくり・コミュニティづくり

〈協働〉公園を拠点としたコミュニティづくり  
「健康づくり・介護予防」を目的とした公園状や、子ども創造力を培うことを目的とした「こどもの外遊び」事業を通して、公園を拠点としたコミュニティ活性化を推進します。



公園神保

#### 公園を中心とした地域づくり

〈協働〉公園調査活用調査  
区民の発案事業として、子どもが遊びやすい公園を調べ、現状調査を市民活動団体「たまたま子育てネットワーク」に委託を行いました。調査した公園の情報は、区民に広く発信していく予定です。

#### 提言全般

〈行政〉開成馬への情報提供  
今後の施策に生かしてもらえるように、関係先に情報提供を行いました。



#### コミュニティづくり

〈協働〉町内会・自治会の加入促進  
提言の内容を踏まえ、今後、多摩区助産師会連合会のコミュニティ活性化促進委員会と加入促進に向けて、協議・調整してまいります。

#### 多摩区の地域特性に適した地域交通

〈行政〉地域交通の相乗と支援助  
地域の力や実現を目指して主体的な取り組みを行っている地域交通について、市の交通政策室とともにコミュニティ交通の検討過程において相談、資料提供、広聴などを行い協力体制を築いていきます。



#### 子どもが育つ環境からみだ世代間交流

〈協働〉親子事業として世代間交流の促進  
親子の心を通わせ、交流・相談の場を提供する「ママとあそぼう/パパもね」事業の拡充など、地域の支援者や先輩ママとの交流を促進していきます。

また、地域で支援活動に関わるボランティアやリーダーの育成を進めるとともに、支援活動をサポートするフォローアップを取り入れていきます。



#### 多摩区の道路整備

〈行政〉交通調査や検討  
騒音調査地点については、昨年12月に交通調査を実施しています。その結果を踏まえ、現在、交差点の形状改良や信号の表示時間の変更など検討をおこなっています。



#### 区民の世代間交流事例

長居のいい家では、期着や将棋を通して、地域の子と高齢者の交流を深めることも目的として「囲碁・将棋ならへよう会」を実施しています。